

ショッピングセンターにおける 新規雇用創出の実態に関する調査結果

社団法人日本ショッピングセンター協会は株式会社矢野経済研究所と共同で、2008年にオープンした「ショッピングセンターにおける新規雇用創出の実態に関する調査」を実施しました。

1. 調査期間: 2009年2月下旬～2009年3月上旬
2. 調査対象: 2008年1～12月にオープンした73SC※、及び主要なSCディベロッパー
3. 調査方法: 郵送によるアンケート調査 (一部、電話による聞き取り調査あり)
4. 回収率: 82.2% (60SC)

※73SC一覧は http://www.jcsc.or.jp/data/open_sc/2008/2008.html

◆2008年のSC開業による新規雇用者数は8万2,709人、地元での採用者数が8割弱

本調査では、60SCのオープン時点での従業員総数を、その地域における新規雇用者とみなした。本調査結果では、新規雇用者8万2,709人のうち、地元での採用者が6万4,448人と、構成比の8割弱(77.9%)を占めることがわかった。

◆SCオープンは特に地方都市の雇用創出に貢献

本調査対象SCを都市規模別に見ると、新規雇用者数は、大都市で2万3,007人(構成比27.8%)、中都市は2万7,838人(同33.7%)、小都市は3万1,864人(同38.5%)となり、人口15万人未満の小都市の割合が高い。

さらに地元での採用者数は大都市で1万8,909人、中都市は1万9,581人、小都市が2万5,958人で、中、小都市により多い。このように、SCの開業による新規雇用は大都市よりも中、小都市での雇用創出に貢献している。

◆2009年の新規雇用者数は8割が「減る」と回答

国内の主要SCディベロッパー19社に対して実施した、「2009年は2008年と比べて新規の雇用者数が増加するか、減少するか」という調査に対しては、回答があった15社中、増加すると回答したディベロッパーが3社、減少すると回答したディベロッパーが12社で、8割が減少すると回答した。

(SC=ショッピングセンター)

<本調査における新規雇用者とは>

本調査では、転勤して新規オープンしたSCに異動した社員もその地域における新規雇用者とみなした。

この件に関するお問い合わせは おうち 情報企画部調査担当：大内
TEL：03-3536-8121

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送り下さいますようお願い申し上げます。
掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



社団法人 日本ショッピングセンター協会

お問い合わせ先 広報担当: 前田・蛭原・瀧澤
(Tel 03-3536-8121 / Fax 03-3536-8120 / pr@jcsc.or.jp)

【 調査結果の概要 】

1. 2008年新規オープンSCにおける雇用創出の実態について

国内のSCにおける雇用創出の実態を調査するべく、2008年にオープンした73SCを調査対象として郵送によるアンケート調査を実施したところ、60SCからの回答を得た(回答率82.2%)。なお、無回答の項目については調査結果から推計した。

地域における新規雇用である開業時点での従業員総数の合計は8万2,709人、1SC当たりの平均従業員数は1,378人となった。さらに地元での採用者数は6万4,448人で構成比の8割弱を占めた。

SCの従業員はSCに入店するテナントの従業員、ディベロッパーの管理部門、清掃業、設備業、警備業といった非テナントの従業員に大別できる。本調査結果では、キーテナント*を含むテナントの従業員の割合が新規雇用者数の87.4%を占める7万2,255人、非テナント従業員は残りの約13%であった。

さらに、オープン時の総従業員数合計における正社員数は1万3,202人、構成比の16%を占めた。また、新規雇用者のうち男性は2万3,470人(構成比の28.4%)、女性が5万9,239人(同71.6%)で女性の方が多かった。店舗面積規模別の平均従業員数は、店舗面積10,000㎡未満は452人、30,000㎡未満794人、50,000㎡未満1,705人、100,000㎡未満2,456人、100,000㎡以上は7,294人であった(表1参照)。

本調査対象SCの新規雇用者数を都市規模別^{注1}に見ると、大都市では2万3,007人(構成比27.8%)、中都市2万7,838人(同33.7%)、小都市3万1,864人(同38.5%)となり、構成比は人口15万人未満の小都市の割合が高い。さらに地元での採用数は大都市で1万8,909人、中都市で1万9,581人、小都市2万5,958人で、中、小都市に多い。本調査結果からは、SCのオープンは特に、地方都市での雇用創出に貢献していることがわかった(表2参照)。

※キーテナントとは、SCに入店しているテナントの中で、その施設の中核となるような機能を持つ重要なテナントを指す。

注1:本調査における都市規模の分類は以下の通り。

大都市:政令指定都市(札幌・仙台・さいたま・千葉・東京区部・川崎・横浜・静岡・名古屋
京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市)

中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

小都市:人口15万人未満の都市

表1 2008年新規オープンSCにおける雇用創出調査結果

2008年オープンSC (調査対象SC)	73
回答SC数	60
回答率(%)	82.2

調査項目	人数	%
オープン時従業員数	82,709	-
1SC当り平均従業員数	1,378	-
地元採用数	64,448	77.9
テナント割合	72,255	87.4
正社員割合	13,202	16.0
男性割合	23,470	28.4
女性割合	59,239	71.6

店舗面積規模別	店舗面積平均(m ²)	平均従業員数(人)
10,000 m ² 未満	6,569	452
30,000 m ² 未満	19,822	794
50,000 m ² 未満	38,131	1,705
100,000 m ² 未満	72,205	2,456
100,000 m ² 以上	162,742	7,294

(社)日本ショッピングセンター協会、(株)矢野経済研究所作成

注2:集計対象は、2008年に新規オープンした73SCのうち、回答があった60SC

注3:無回答の項目については調査結果から推計

表2 都市規模別総従業員数とSC数

都市規模	総従業員数 (人)	都市規模別 構成比	1SC当り 従業員数 (人)	地元採用者数 (人)	総従業員数に 占める地元 採用構成比	開業SC数
大都市	23,007	27.8%	1,211	18,909	82.2%	19
中都市	27,838	33.7%	1,988	19,581	70.3%	14
小都市	31,864	38.5%	1,180	25,958	81.5%	27
合計	82,709	100.0%	1,378	64,448	77.9%	60

(社)日本ショッピングセンター協会、(株)矢野経済研究所作成

注4:本調査における都市規模の分類は以下の通り。

大都市:政令指定都市(札幌・仙台・さいたま・千葉・東京区部・川崎・横浜・静岡・名古屋・
京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市)

中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

小都市:人口15万人未満の都市

2. 2009年オープン予定のSCにおける新規雇用者数について

国内の主要SCディベロッパー19社に対し、2009年にオープンする予定のSC数を調査した。その結果、2009年内にオープンする予定のSCは28SCであった。

本調査対象のSCディベロッパー19社のうち、2009年にオープンする予定のSCでの想定新規雇用者数を回答したのは10社、その合計は2万5,000人であった。以上から、本調査結果では、2009年にオープンする予定のSCによって今年最低でも2万5,000人規模の新規雇用が創出される見込みである。

また、2009年は2008年と比べて新規の雇用者数が増加するか、減少するかという質問に対しては、回答があった15社中、増えると回答したディベロッパーが3社、減ると回答したディベロッパーが12社で、8割が減少すると回答した。

表3 主要10社の2009年新規オープン予定SC数と想定新規雇用者数

2009年オープンSC数合計	28SC
2009年想定新規雇用者数計	25,000人

(社)日本ショッピングセンター協会、(株)矢野経済研究所作成

注5:集計対象は、国内主要SCディベロッパー19社

注6:未回答を除く

表4 主要15社の2009年新規雇用者数の増減(2008年との比較)

増える	3社
減る	12社

(社)日本ショッピングセンター協会

(株)矢野経済研究所作成

注7:集計対象は、国内主要SCディベロッパー19社、単回答

注8:未回答を除く